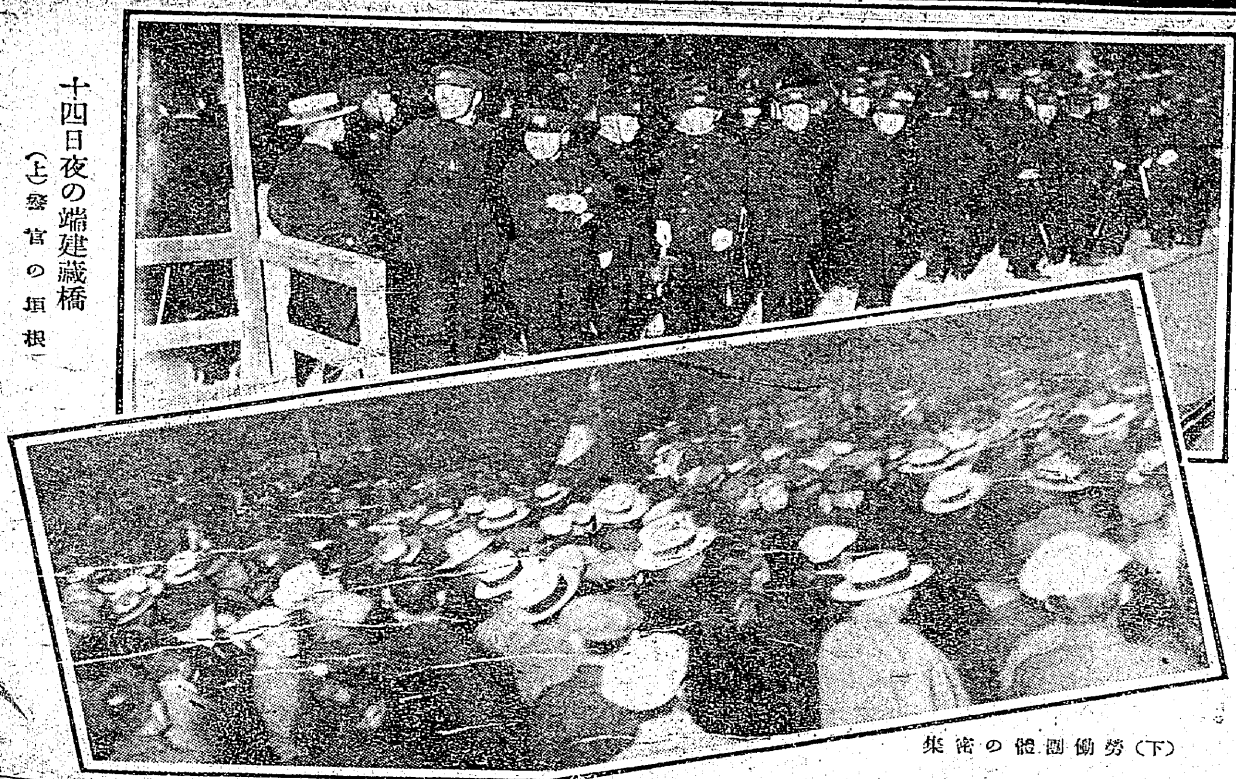
衝突原因は會旗の奪合ひ

警官隊と示威行列との衝突に關し友愛會阪井幹事の語る所に依ると最初市民館を出る時プラッシュ工印刷工、鐵工、友愛會の四ツの組合旗を押立てゐるを九條署の巡査が「旗を開いた儘押し立て、行進するは不穩だ」と注意したので卷いて進行した所途中で先頭にあつた某會部輔が卷いても押立てゝはならぬとて旗を抱へさしソコで四ツの旗を各旗手が右に抱へて勞働歌を歌つて小走りで行進して端建橋までやつて來ると突然十數名の警官隊が前面に立ちふさがつて行進を止めるや會旗を提げてゐる姿勢が恰も警官隊に突撃する如く見なしたので警官隊は誤解して忽ち



十四日夜の端建藏橋（上）警官の垣根

（下）勞働團體の密集

大電側の鼻息は荒過ぎる

急遽歸阪した田中警察部長談

田中警察部長は大電罷業の形勢緩和を見て警察部長會議列席のため東京へ行つたが、若早々又もや形勢險惡の報を得て十五日朝東京發滊車同夜八時半大阪着急遽歸阪した氏は語る

實はコンナ事にならぬ樣にと心配し仲裁も厭ふまいと思つたのだが何しろ大電重役側の鼻ツ柱が荒過ぎるので私も打棄つて東上したのだが、職工側の背後には友愛會其他有力團體の團結した力があるに拘らず重役側はソレを餘り重く見ないのが今度の樣な行違ひを生ずる動機となつたのだ、此行違ひから續いてゐた穩當な氣の吐口を見出したと同時に兩者共に將來の對策を眞劍に考へ、或は解決の曙光を齎らす樣になるかも知れぬ、ソレな切に望んでゐる、僕の方は斷じて職工側に壓迫は加へぬ、勿論夜間の示威運動は禁じてゐるが其他は大抵打棄つておく積りだ其方が却つて穩かに治まるものだからネ

十三堤で

氣晴しの運動會

前日警官隊と大衝突をなして多數の負傷者を出した大電職工團は十